



2022年5月13日

第一生命保険株式会社

第一フロンティア生命保険株式会社

## 大和ハウスリート投資法人が発行するサステナビリティ・リンク・ボンドへの投資 ～環境に配慮した不動産投資の拡大を通じて持続可能なまちづくりを後押し～

第一生命保険株式会社（代表取締役社長：稲垣 精二、以下「第一生命」）、第一フロンティア生命保険株式会社（代表取締役社長：武富 正夫、以下「第一フロンティア生命」）は、大和ハウスリート投資法人が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド<sup>1</sup>に40億円<sup>2</sup>（発行額全額）投資することを決定しましたので、お知らせします。

サステナビリティ・リンク・ボンドは、事前に設定されたサステナビリティ・パフォーマンス目標（以下、「SPTs」）の達成状況によって金利が変動する仕組みとなっており、発行体の取組み・行動変容を後押しすることで、環境・社会面において持続可能な経済活動を促進・支援することを目指す金融商品です。

大和ハウスリート投資法人は、物流施設、居住施設、商業施設及びホテル等の幅広い資産に投資を行う上場不動産投資法人です。「中長期にわたる安定した収益の確保と資産の着実な成長」という基本方針の下、サステナビリティ取組みを重要な経営課題の一つと位置付け、環境に配慮した物件の取得や設備の導入を積極的に推進しています。

こうした中、大和ハウスリート投資法人は2021年にCDP気候変動プログラム<sup>3</sup>において最高評価であるAリスト企業に認定されており、本債券も同社が継続的に当該評価を取得することをSPTsに設定しています。本債券は、この目標の達成状況に応じて金利が変動する仕組みとなっており、環境に配慮した不動産投資の拡大を通じ、持続可能なまちづくりにつながる事が期待されます。

第一生命、第一フロンティア生命は、本投資が大和ハウスリート投資法人におけるサステナビリティ取組みの更なる推進の動機付けとなり、持続可能な社会の実現に向けた取組みの後押しとなることを期待しています。今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG投資に積極的に取り組んでいきます。

### 【本債券の概要】

発行体	大和ハウスリート投資法人
発行額	40億円
償還期間	7年
サステナビリティ・パフォーマンス目標（SPTs）	CDP気候変動プログラムにおいて、大和ハウスリート投資法人がAリスト企業に認定されること

<sup>1</sup> 本債券は、株式会社日本格付研究所（JCR）から、サステナビリティ・リンク・ボンド原則等との整合性について第三者意見を取得しています。

<sup>2</sup> 第一生命：20億円、第一フロンティア生命：20億円

<sup>3</sup> CDP（Carbon Disclosure Project）は英国の国際的な環境非営利団体（NGO）です。世界の主要企業の環境戦略や温室効果ガス排出量の削減努力等の環境情報を収集・分析し、9段階（A, A-, B, B-, C, C-, D, D-, F）でスコアを評価し对外公表を行っています。